

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3100653号
(U3100653)

(45) 発行日 平成16年5月27日(2004.5.27)

(24) 登録日 平成16年1月21日(2004.1.21)

(51) Int.Cl.⁷

B 6 2 B 3/10

// F 1 7 C 13/08

F I

B 6 2 B 3/10

A

F 1 7 C 13/08 3 O 1 A

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願2003-270785 (U2003-270785)

(22) 出願日 平成15年7月20日(2003.7.20)

(73) 実用新案権者 501434340

仁木 勝一

京都府京都市下京区七条御所ノ内北町82

(72) 考案者 仁木 勝一

京都市下京区七条御所ノ内北町82

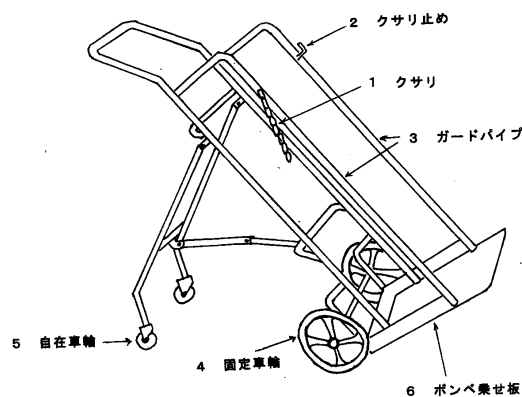
(54) 【考案の名称】 高圧ガスポンベの縦並び2本積運搬車

(57) 【要約】 (修正有)

【目的】 病院、学校、研究所工場等ポンベを搬入搬出する時に、横並び積運搬車では通れない幅の通路や入口でも、ポンベ1本積運搬車の幅があれば2本同時に運搬することができる高圧ガスポンベの縦並び2本運搬車の提供。

【構成】 高圧ガスポンベの縦並びに載せるポンベ乗せ板6と、転倒転落防止のガードパイプ3、クサリ1を備えた運搬車。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

高圧ガスポンペを縦並び 2 本積にして運搬する運搬車。

【考案の詳細な説明】

【考案の詳細な説明】

【産業上の利用分野】

【0001】

この考案は、高圧ガスポンペを運搬するために使用する運搬車に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来、高圧ガスポンペの 2 本積運搬車は、横並びに積むものだけである。

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

従来の高圧ガスポンペの 2 本積運搬車は、横並びに積むため横巾が広がる。そのため、通路に物が置いてある場合や、人が往来している場合は運搬に支障をきたす。また、入口や通路が狭い場合は通れない。1 本ずつ運搬すると、本数が多い場合は、何回も往復しなければならないので、時間と労力を要します。本案は、高圧ガスポンペの 2 本積運搬車で横巾を出来るだけ狭くしようと考えた。

【課題を解決するための手段】

【0004】

高圧ガスポンペの 2 本積運搬車の横巾を出来るだけ狭くする為に、高圧ガスポンペを縦並びに積載出来るようにした。さらに、積載して運搬する場合転倒転落しないように、ガードパイプとクサリ掛けを設けた。

【作用】

【0005】

高圧ガスポンペを 2 本同時に運搬する。

【実施例】

【0006】

高圧ガスポンペを病院、学校、研究所、工場等に搬入搬出する時に使用する。

【考案の効果】

【0007】

通路や入り口が狭い所でも、高圧ガスポンペを 2 本同時に運搬する事が出る。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本考案の斜視図

【図 2】 本考案品に高圧ガスポンペを積載した状態図

【符号の説明】

- (1) はクサリ
- (2) はクサリ止め
- (3) はガードパイプ
- (4) は固定車輪
- (5) は自在車輪
- (6) はポンペ乗せ板

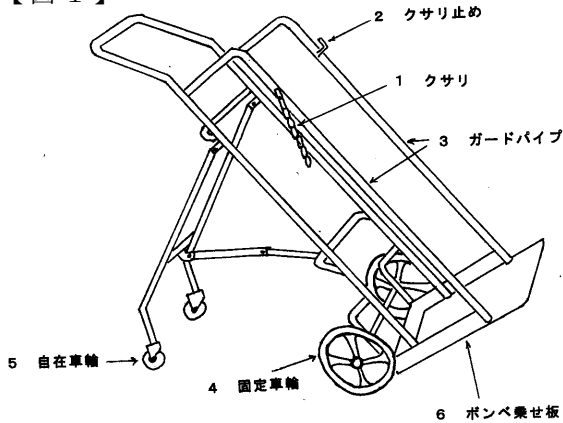
10

20

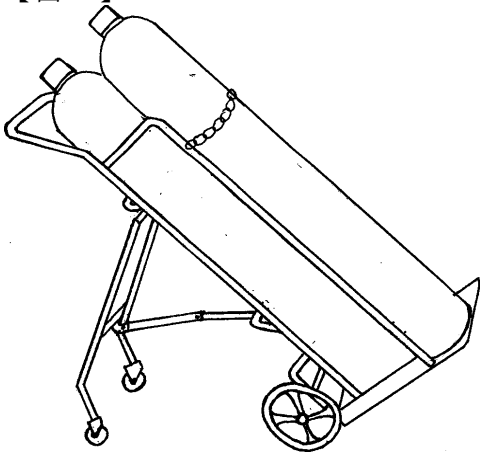
30

40

【図 1】



【図 2】



【手続補正書】

【提出日】平成15年10月6日(2003.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

高圧ガスボンベが縦並びに 2 本乗るボンベ乗せ板 6 と、転倒転落防止のガードパイプ 3 及びクサリ 1、クサリ止め 2、及び固定車輪 4、自在車輪 5、折帯板 8 を設けパイプ 9 で骨組した高圧ガスボンベの縦並び 2 本積運搬車。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、高圧ガスボンベを 2 本同時に縦並び積にして運ぶ、ボンベ運搬車に関するものである。

【技術背景】

【0002】

高圧ガスボンベを 2 本同時に運ぶ場合、横並び積の運搬車を使用していた。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

高圧ガスポンベの横並び2本積運搬車は幅が広い為、通路に物が置いてある場合や人が往来している場合は運搬に支障をきたした。また、エレベーターの入口やドアの入口が狭い場合は通れない。従って、縦並び2本積にすることにより運搬車の幅を狭くして、前述の欠点を解決しようとするものである。

【課題を解決するための手段】

【0004】

本考案は運搬車の横幅を狭くする為、ポンベ乗せ板6を縦並びに2本乗る形状にし、かつ、安全に運搬する為にガードパイプ3及びクサリ1、クサリ止め2を設けて転倒転落防止を行うことにより、問題点を解決している。

【考案の効果】

【0005】

上述の様に、本考案の高圧ガスポンベの縦並び2本積運搬車は、病院、学校、研究所工場等にポンベを搬入搬出する時に、横並び積運搬車では通れない幅の通路や入口でも、ポンベ1本積運搬車の幅があれば2本同時に運搬する事が出来る。

【考案を実施するための最良の形態】

【0006】

以下、本考案の実施例について説明する。手持部1のパイプを押し上げて、ポンベ乗せ板6を地盤面に水平に接地した状態にする。そして、高圧ガスポンベ1本をポンベ乗せ板の奥の方に立てて乗せる。次にもう1本を手前の方に立てて乗せて、クサリ1を掛ける。その状態で手持部のパイプを押し下げると、自在車輪5が同時に後退して折帯板8が直線状になって止まる。2本のポンベは、縦に斜め積みの状態となり、この状態で運搬する。降ろす時は手持部のパイプを押し上げると、ポンベは直立して乗せ板が地盤面に水平に接地した状態になる。この時同時に、自在車輪が前進して帯板は折りたたみ状態となる。次にクサリを外してポンベを1本ずつポンベ乗せ板から降ろす。

【図面の簡単な説明】

【0007】

【図1】本考案の斜視図である。

【図2】本考案に高圧ガスポンベを積載した斜視図である。

【符号の説明】

【0008】

- 1 クサリ
- 2 クサリ止め
- 3 ガードパイプ
- 4 固定車輪
- 5 自在車輪
- 6 ポンベ乗せ板
- 7 手持部
- 8 折帯板
- 9 パイプ
- 10 高圧ガスポンベ

【手続補正3】

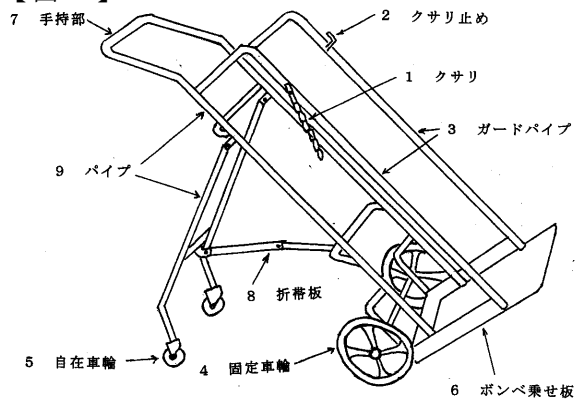
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】



【図 2】

